

大阪府防災力強化マンション認定基準チェックシート(認定申請用)

マンション名	
所在地	
申請者名	

※基準を満たす項目のチェック欄にチェックし、該当する項目の算定根拠等の記入をしてください。

	項目	基準	算定根拠等	チェック欄
① 建物の構造に関する基準	耐震性 (いずれか)	住宅性能評価「耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)」等級2以上		<input type="checkbox"/>
		” 「耐震等級(構造躯体の損傷防止)」等級2以上		<input type="checkbox"/>
		住宅性能評価で免震建築物の明示を受けたもの		<input type="checkbox"/>
	耐火性	住宅性能評価「耐震等級(構造躯体の倒壊等防止)」等級1以上		<input type="checkbox"/>
” 「耐震等級(構造躯体の損傷防止)」等級1以上 家具転倒防止対策で専門家による相談窓口を一定期間設置			<input type="checkbox"/>	
② 建物内部の安全性に関する基準	住戸内の地震対策	家具転倒防止対策の実施		<input type="checkbox"/>
		家具転倒防止マニュアルの作成・配付	【マニュアル案の添付】	<input type="checkbox"/>
		家具転倒防止の必要性と壁下地に応じた対応方を明記		<input type="checkbox"/>
		吊り戸棚等への耐震ラッチの設置	対象室 (キッチン、その他( ) )	<input type="checkbox"/>
		居間等に直接面する冷蔵庫の背面等に連結ベルトを固定するための金具を設置できる壁下地の設置及びその旨の表示	対象室タイプ ( )	<input type="checkbox"/>
	耐震等級1の場合、専門家による相談窓口を一定期間設置	相談窓口担当者(予定) ( ) 窓口設置期間 全住戸入居後1年間 入居開始日( 年 月 日)(予定)	<input type="checkbox"/>	
	対震枠付玄関ドアの設置 JIS A 4702面内変形追随性の規定で「D-3」等級 耐震性に配慮されたドアガード		<input type="checkbox"/>	
エレベーター	地震時管制運転装置の設置		<input type="checkbox"/>	
救出・救助	救出・救助資器材を防災倉庫に設置 (防災倉庫には室名札等による表示を設置)	防災倉庫 場所( )階	<input type="checkbox"/>	

1) 災害後3日間の生活維持を図る備え					
飲料水の確保は必須項目	対策 選択した目的から対策を1以上選択		算定根拠等	チェック欄	
飲料水の確保	■	防災倉庫に一人1日当たり3リットルを3日分準備	備蓄飲料水の量 ( ) リットル $\geq ( ) \text{リットル} = ( ) \text{人} \times 9 \text{リットル}$	<input type="checkbox"/>	
		小型造水機の設置 (ただし、敷地内に有効な水源があること)	水源 ( ) 水源までの歩行距離 ( ) m $\leq 1 \text{ km}$ 飲料水造水能力 ( ) ℓ/時 生活用水造水能力 ( ) ℓ/時	<input type="checkbox"/>	
目的	<input type="checkbox"/> 11階以上に住戸あり、または200戸未満 →1項目以上 <input type="checkbox"/> 11階以上に住戸なし、かつ200戸以上 →2項目以上、		対策 選択した目的から対策を1以上選択	算定根拠等	
食糧、食事の確保	□	乾パンなど煮炊き不要な食糧を防災倉庫に準備 (全住戸に対し3日分以上)	備蓄食糧 合計 ( ) 食 $\geq ( ) \text{食} = ( ) \text{戸} \times ( ) \text{人} \times ( ) \text{食}$ 食糧の内容 ( ) : ( ) 食 ( ) : ( ) 食 備蓄場所 ( ) 階 室名 ( )	<input type="checkbox"/>	
		かまどベンチの設置及びかまどベンチ用燃料等の備蓄 (200戸あたり1基 (かまど2脚) 以上)	かまどベンチの数 ( ) 基 $\geq ( ) \text{基}$ $= ( ) \text{戸} \div 200 \text{戸}$ (小数点以下切り上げ) かまどベンチの燃料および量 ( ) 備蓄場所 ( ) 階 室名 ( )	<input type="checkbox"/>	
し尿処理	□	マンホール用マンホール及びトイレキットを100人当たり1基設置 (ただし、災害後の利用における詰まり等を防止するため適切な対策を講じていること)	マンホールトイレの数 ( ) カ所 トイレキットの数 ( ) セット $\geq ( ) \text{カ所}$ $= ( ) \text{人} \div 100 \text{人}$ (小数点以下切り上げ) 備蓄場所 ( ) 階 室名 ( )	<input type="checkbox"/>	
生活用水の確保	□	防災井戸の設置	深度・径等 ( )	<input type="checkbox"/>	
		雨水貯留槽の設置	一人1日当たり8リットルを3日分準備 貯留槽 ( ) リットル $\geq ( ) \text{リットル} = ( ) \text{人} \times 24 \text{リットル}$	<input type="checkbox"/>	
		貯湯式給湯器の設置	貯湯量 ( ) リットル $\geq ( ) \text{リットル} = ( ) \text{人} \times 24 \text{リットル}$	<input type="checkbox"/>	
一時避難場所の確保	□	一時避難の際の有効な200㎡以上のまとまった敷地内オープンスペース	対象空地面積 ( ) ㎡ $\geq 200 \text{㎡}$	<input type="checkbox"/>	
2) 高層住戸の災害後の生活の確保について					
目的	<input type="checkbox"/> 11階以上に住戸あり →1項目以上選択 <input type="checkbox"/> 11階以上に住戸なし →選択不要		対策	算定根拠等	チェック欄
高層階用防災倉庫の確保	□	高層住戸の住民の飲料水や食糧、災害時用ポータブルトイレ等を備蓄するため、高層階用防災倉庫を11階以上の階に設置すること。なお、高層階用防災倉庫は11階以上の各階に設置されることが望ましいが、少なくとも11階以上の住民が利用するにあたり、居住階から5階上ったフロア又は5階下ったフロアに1カ所以上設置すること (高層階用防災倉庫には室名札等による表示を設置)  (倉庫面積の合計が、11階以上の戸数×0.05㎡で算出される面積以上、最小5㎡)	11階以上の住戸のある階 ( ) 階～( ) 階 高層階用防災倉庫の場所 ( ) 階  面積の合計 ( ) ㎡ $\geq ( ) \text{㎡} = 11 \text{階以上} ( ) \text{戸} \times 0.05 \text{㎡}$ (最小5㎡)	<input type="checkbox"/>	
生活場所の確保	□	高層住戸の住民の避難生活に使用できる屋内スペースを低層部に設置すること  (11階以上の居住者数×2㎡×50%で算出される面積以上、最小50㎡)	場所 ( ) 階 室名 ( ) 面積の合計 ( ) ㎡ $\geq ( ) \text{㎡} = 11 \text{階以上} ( ) \text{人} \times 2 \text{㎡} \times 0.5$ (最小50㎡)	<input type="checkbox"/>	
災害後も使用できるエレベーター	□	11階以上の高層部に通ずる、少なくとも一基以上のエレベーターについては、災害後の停電時等にも3日間継続して使用できる仕様のもをとすること	( ) 基 ( ) 号機	<input type="checkbox"/>	

③ 災害に対する備えに関する基準

<指定様式2>

		項目	基準	チェック欄
④ 津波避難対策 に関する基準	津波避難ビルの指定	<input type="checkbox"/>	市町からの指定要請の有無	<input type="checkbox"/>
	津波浸水想定区域 内 外	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	津波避難ビルの指定に関する市町との協議録等	<input type="checkbox"/>
		項目	基準	チェック欄
⑤ 防災アクションプランの策定に関する基準	計画の目標		被災時のマンション住民の自立を主眼においた防災方針を記述	<input type="checkbox"/>
	計画の位置づけ		管理規約等に位置づける。	<input type="checkbox"/>
	マンションの概要		名称、住所、規模等、防災対策を策定するための基礎情報として記述	<input type="checkbox"/>
	マンション周辺の防災関連情報		被害想定やマンションの立地状況、避難所の位置など記述	<input type="checkbox"/>
	マンションが備える防災性能、防災設備備品・備蓄物資一覧		耐震性能や耐火性能、ほか建物仕様における防災上の工夫など記述	<input type="checkbox"/>
	災害に対する備え		「A. 災害直後の安全確保」 「B. 災害後3日間の生活維持」 「C. ライフライン復旧までの生活支援」 「D. 日常の自主防災活動」 の4段階に応じ、活動目的別に対策を記述する。 ※各段階で活動目的別に一つ以上の対策を行う。	<input type="checkbox"/>
	地域への貢献について		災害時に一定期間周辺住民に開放できる施設など、マンションとして地域貢献できる項目を記述	<input type="checkbox"/>
	防災アクションプランを補完する各種マニュアル		市町村防災マニュアル、家具転倒防止マニュアル、防災訓練マニュアルなど、災害対策活動をサポートする各種マニュアル	<input type="checkbox"/>